学校番号	1009

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新高等学校　現代文Ｂ（明治書院）						
副教材等	国語必携　パーフェクト演習（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な文章の「読む能力」を培うことを目標にします。現代文の読解方法を身につけることで、進学や就職の試験に対して強くなることも目標の一つです。また、表現を豊かにすることで、考え方や捉え方の幅を広くもてるようになることもめざしたいと考えています。
文章の記述や語句の理解には、反復して学習する必要があります。
一年間、難しいたくさんの文章に出会い、上記のことを意識しながら、自分のベストを尽くして取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を読む能力を高めると共に、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
・現代文に慣れ親しむことで、国語に対する感覚を磨く。
・社会生活の中で必要な語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、相手の話すことを的確に聞き取り、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、適切な表現で書くことで、自分の考えを深め、発展させている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読むことで、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言語の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等）	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等）	・記述の点検及び分析(プリント・ノート等) ・定期考査	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の点検（ワーク等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	言語について考える	随想「詩を翻訳する少年」 国語常識	○	○	○			a：筆者の考えを読み取り、言語について考えようとしている。 b：言語について考えをまとめ、生徒間で意見を話す・聞くことができる。 c：筆者の考えをまとめて、書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 記述の点検 c：記述の確認 定期考査
2	近代文学の名作を、登場人物に着目して読み味わう	小説「山月記」 国語常識	○			○	○	a：登場人物の性格や心情について考えようとしている。 d：登場人物の性格や心情に着目して、独特の表現を読み取っている。 e：登場人物の性格や心情、話の展開を理解している。	a：行動の観察 d、e：記述の確認 定期考査
3	特色のある文章に触れ、関心を広げる	小説「ナイン」 評論「愛づる―時間を見つめる」 国語常識	○		○	○	○	a：特色のある文章の表現や文章の筋道について考察しようとしている。 c：筆者の考えや描き方についてまとめて、文章で書いている。 d：登場人物の心情や描かれ方を読み取っている。 e：文章の形態から筆者の書きぶりについて考え、文章の展開や構成を理解している。	a：行動の観察 記述の点検 c、d：記述の点検 e：記述の確認 定期考査

4	場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る	小説「こころ」 国語常識	○			○	○	a：場面の推移や登場人物の心情の移り変わりについて考え、まとめようとしている。 d：場面の推移や登場人物の心情の移り変わりについて読み取っている。 e：場面の推移や登場人物の人物像・心情について理解している。	a：行動の観察 記述の点検 d：記述の点検 e：記述の確認 定期考査
5	「現代」のあり方について考える	評論「ロボットとは何か」	○	○	○			a：技術の進歩について筆者の考えを読み取ろうとしている。 b：筆者の考えを自分の言葉でまとめ、他者に話したり聞いたりしている。 c：文章の内容を理解し、使いこなせる語句の数を増やしている。	a：行動の観察 b：行動の観察 記述の点検 c：記述の確認 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。